

平成31(令和元)事業年度事業報告書
(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

1. 事業活動

(1) 公益目的事業

本事業については、研究開発助成等として12件22,969千円(表Ⅰ)、海外に対する普及協力及び国際交流等助成として2件2,031千円(表Ⅱ)、放送大学の学生に対する助成として17,000千円(表Ⅲ)、合計で前年度と同額の42,000千円の助成を実施した。

(単位:千円)

助成項目	平成31(令和元)年度	平成30年度	対前年度比
研究開発助成等(表Ⅰ)	22,969	23,500	△ 531
海外に対する普及協力及び国際交流等助成(表Ⅱ)	2,031	1,500	531
放送大学の学生に対する助成(表Ⅲ)	17,000	17,000	-
合 計	42,000	42,000	-

表Ⅰ 研究開発助成等

研究開発事業名	申請代表者	所属大学・職名
放送大学の効果的な学生増加方策の検証について	岡田 光正	放送大学 理事・副学長
学習教育戦略研究所における研究の推進	岡田 光正	放送大学 副学長・学習教育戦略研究所長
遠隔「研究(指導)」実践過程の記述:放送大学大学院「研究指導」科目を対象に(3-3)	高橋秀明	放送大学 准教授
音声認識システムを活用したメディア教材の字幕化及び多言語化の研究(3-2)	広瀬洋子	放送大学 教授
Webキャストコンテンツのマルチデバイスアプリ開発に関する研究(3-2)	児玉晴男	放送大学 教授
博物館活用による遠隔教育の教材および教育システムの開発(2-2)	稲村哲也	放送大学 特任教授
通信制大学における障害学生のニーズに応じた修学支援に関するマニュアルの開発:合理的配慮の視点から(2-2)	野口久美子	八洲学園大学 教授
パソコン視聴に適合した放送教材の音質とその改善の研究(2-1)	仁科エミ	放送大学 教授
xR実技演習の手法を用いた教育支援システムに関する研究	川原 靖弘	放送大学 准教授
成人学習者のセグメント化による学習ニーズに応じた学習環境整備に関する研究	岩崎 久美子	放送大学 教授
国内外における情報デザイン教育の現状調査と分析ー新たな情報デザイン教育を目指してー	伏見 清香	放送大学 教授
実習型授業科目の全天候記録インタラクティブ再生機能を有する内省支援システムの開発	田中 孝治	金沢工業大学 講師

表Ⅱ 海外に対する普及協力及び国際交流等助成

事業名	申請代表者名	所属大学・職名
VRオンライン通信を用いた国際交流によるサイエンス・アート学際的教育研究プロジェクトの実践	出原 立子	金沢工業大学 教授
スペイン・カタルーニャ公開大学の教育システム、特に試験を含む成績評価のあり方に関する調査研究	森本 容介	放送大学 准教授

表Ⅲ 放送大学の学生に対する助成

① 学生団体活動への助成 (サークル情報誌、活動連絡等に係る経費の一部補助)
② 学生研修旅行への助成 (研修旅行に係るバス借上費等に係る経費の一部補助)
③ 放送大学同窓会連合会等が行う学生支援事業に対する助成 (学生相談会等の学生支援事業に係る経費の一部補助)

(2) 印刷教材出版・頒布事業

本事業については、令和2年度新刊本(64科目)133.1千部、既刊本262.2千部、合計395.3千部を頒布した。学園への納入部数は、学部323.0千部、大学院7.9千部の合計330.9千部で対前年度比8.5千部減少、市販部数は学部57.2千部、大学院7.3千部の合計64.4千部で対前年度比5.1千部減少した。この結果、合計では、対前年度比13.5千部の減少となった。

(単位:部)

区 分	内 訳	平成31(令和元)年度	平成30年度	対前年度比
放送大学学園納入部数	学部	323,032	327,195	△ 4,163
	大学院	7,850	12,155	△ 4,305
	計	330,882	339,350	△ 8,468
市販部数	学部	57,176	62,279	△ 5,103
	大学院	7,250	7,211	39
	計	64,426	69,490	△ 5,064
合 計		395,308	408,840	△ 13,532

(3) 放送教材複製・頒布事業

本事業については、授業科目について、新刊570枚、既刊885枚の計1,455枚、特別講義については、既刊21枚で、合計1,476枚を複製・頒布した。この結果、放送教材の複製頒布数は、対前年度比307枚増加の1,476枚となった。

(単位:枚)

区 分	内 訳	平成31(令和元)年度	平成30年度	対前年度比
放送教材	授業科目	1,455	1,155	300
	特別講義	21	14	7
	計	1,476	1,169	307

2. 事業活動収支状況

(1) 印刷教材出版・頒布事業

本事業による収益は、放送大学への納入部数、市販部数共に減少(放送大学8.5千部減、市販部数5.1千部減)したことにより対前年度比19,207千円減少の573,035千円となった。

一方印刷教材作成費は、販売数量の減少に伴い対前年度比23,716千円減少の230,896千円となり、この結果収支は、対前年度比4,509千円増加の342,139千円となった。

(単位:千円)

区 分	平成31(令和元)年度	平成30年度	対前年度比
印刷教材出版・頒布事業収益	573,035	592,242	△ 19,207
印刷教材作成費	230,896	254,612	△ 23,716
収 支 ①	342,139	337,630	4,509

(2) 放送教材複製・頒布事業

本事業による収益は、授業科目の頒布が増加したことにより、対前年度比2,307千円増加の15,354千円となった。

一方放送教材作成費は、頒布数量の増加に伴い、対前年度比458千円増加の11,686千円となり、この結果収支は、対前年度比1,849千円増加の3,668千円となった。

(単位:千円)

区 分	平成31(令和元)年度	平成30年度	対前年度比
放送教材複製・頒布収益	15,354	13,047	2,307
放送教材作成費	11,686	11,228	458
収 支 ②	3,668	1,819	1,849

(3) 資産運用益等

基本財産・特定資産(放送教育振興基金)及びその他の投資有価証券の資金運用益等は、対前年度比6,636千円減少の25,265千円となった。また、その他雑収益等については、返品調整引当金戻入が1,103千円発生し対前年比984千円の増加となり、この結果資産運用益等は、対前年度比5,652千円減少の26,675千円となった。

(単位:千円)

区 分	平成31(令和元)年度	平成30年度	対前年度比
資産運用益	25,265	31,901	△ 6,636
その他雑収益等	1,410	426	984
計 ③	26,675	32,327	△ 5,652

(4) 助成事業・管理費等

助成事業は、前年度と同額。事業管理費支出については、対前年度比4,483千円の減少、管理費支出については、対前年度比1,243千円の減少となり、これらの支出の合計は、対前年度比5,427千円減少の360,658千円となった。

(単位:千円)

区 分	平成31(令和元)年度	平成30年度	対前年度比
助成事業支出	42,000	42,000	-
事業管理費支出	285,156	289,339	△ 4,183
管理費支出	33,503	34,746	△ 1,243
支出計 ④	360,658	366,085	△ 5,427

(5) 収支の状況

以上の結果、当期の経常増減額は、対前年度比6,131千円増加の11,823千円となった。

一方、当期一般正味財産増減額では、保有有価証券の時価評価額が21,260千円減少、法人税等10,111千円を納付した結果、対前年度比23,970千円減少の△19,547千円となった。

(単位:千円)

区 分	平成31(令和元)年度	平成30年度	対前年度比
事業収支合計 ⑤ (①+②+③)	372,482	371,777	705
助成事業・管理費等支出合計 (④)	360,658	366,085	△ 5,427
当期経常増減額 ⑥ (⑤-④)	11,823	5,692	6,131
投資有価証券評価損益等 ⑦	△ 21,260	8,760	△ 30,020
法人税等 ⑧	10,111	10,029	82
当期一般正味財産増減額 (⑥+⑦-⑧)	△ 19,547	4,423	△ 23,970

3. 正味財産期末残高

上記の結果、平成31(令和元)年度の正味財産期末残高は、2,848,755千円となった。

(単位:千円)

区 分	平成31(令和元)年度	平成30年度	対前年度比
正味財産当年度末残高	2,848,755	2,868,303	△ 19,547

4. 附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書

「事業報告の内容を補足する重要な事項」については、該当の事項はない。

(注)

- 1 消費税は、税抜き表示。
- 2 表の計数は、それぞれ四捨五入によっているため、端数において合計と合致しないものがある。